

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	埼玉県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	秩父市立花の木小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	3	2	3	3	3	1	17	24
児童数	64	83	79	100	94	87	6	513	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力をはぐくむ学習指導 - 個に応じた指導を通して -

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

少人数指導 <ul style="list-style-type: none"> 2年生～6年生(算数) 児童の理解の状況に差が出やすく、内容の系統性が明確である教科であり、基礎・基本の定着を図るため。 3年生(社会・理科) 教科への分科学年であり、興味・関心に応じた学習活動を展開し、個に応じた指導の充実を図るため。 教科担任制 <ul style="list-style-type: none"> 5年生(社会・理科・図工・書写) 6年生(社会・理科・家庭・書写) 教師の得意分野を生かし、より質の高い授業を目指した研究に取り組むため。

(2) 年次ごとの計画

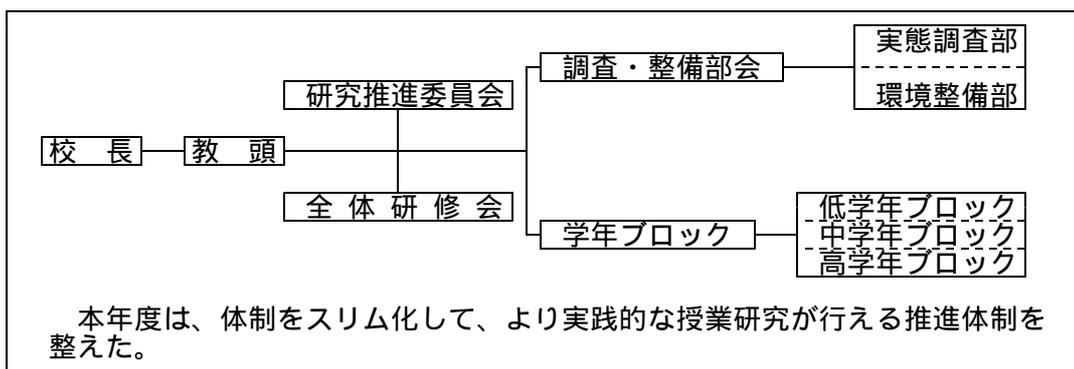
平成14年度	テーマ 自分の思いを表現でき、自己実現を目指す児童の育成 - 個に応じた指導を通して - 仮説 少人数指導、教科担任制を通じた学習や総合的な学習の時間における調べ学習やふれあい体験活動等の充実により児童の心は揺さぶられ、主体的・創造的な取り組みがなされ、生きる力の育成が可能となる。 研究の内容・方法 少人数指導による一人一人の児童の要求に応えられる指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> 指導体制の工夫改善と指導方法の充実 発展的な学習や補充的な学習などの教材開発 自作の問題作成と実施(全学年算数、3～6年理科、5,6年社会) 適切な評価方法の工夫改善 教科担任制による教師の特性を生かした個に応じた指導の充実 総合的な学習の時間を通じた調べ学習や体験的な学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> 勤労、福祉体験、社会体験、自然体験、人や本とのふれあいを深め、児童に充実感を味わわせ、豊かな心を育む。 調べ方、学び方の学習の充実 学校外のような人材の活用 他校へ研究成果を広めるための研究発表会の実施
--------	--

平成15年	テーマ 確かな学力をはぐくむ学習指導 - 個に応じた指導を通して - 仮説 少人数指導や教科担任制等の指導体制や指導方法の工夫改善を図ること
-------	---

度	<p>により、児童の学力をさらに高めることができるであろう。 また、総合的な学習の時間における調べ学習やふれあい体験活動等を充実させることにより、主体的・創造的な取組がなされ、確かな学力の育成が可能となるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>少人数指導による個に応じた指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 習熟の程度に応じた指導の工夫改善 ・ 少人数指導計画の作成 ・ 指導に生かす評価方法の工夫改善 ・ 自作『力だめしテスト』の実施と分析 (算数・全学年、社会・5～6年、理科・3～6年) <p>教科担任制による教師の専門性を生かした授業の充実 調べ学習やふれあいを大切にした体験的な学習の充実 地域や他校へ研究成果を広めるための授業研究会や研究発表会の実施</p> <p>本年度の少人数指導の研究については、個に応じた指導をさらに充実させるために、習熟の程度に応じた指導の工夫改善に取り組んだ。</p>
---	---

平成 16 年度	<p>テーマ 確かな学力をはぐくむ学習指導 - 個に応じた指導を通して -</p> <p>仮説 少人数指導や教科担任制等の指導体制や指導方法の工夫改善を図ることにより、児童の学力をさらに高めることができるであろう。 また、総合的な学習の時間における調べ学習やふれあい体験活動等を充実させることにより、主体的・創造的な取組がなされ、確かな学力の育成が可能となるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>少人数指導による個に応じた指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 習熟の程度に応じた指導の工夫改善 ・ 少人数指導計画の作成 ・ 指導に生かす評価方法の工夫改善 ・ 自作『力だめしテスト』の実施と分析 (算数・全学年、社会・5～6年、理科・3～6年) <p>教科担任制による教師の専門性を生かした授業の充実 身に付けた基礎的・基本的な内容を生かす指導の工夫改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な学習の時間における調べ方、学び方の学習の充実 ・ 家庭との連携 <p>地域や他校へ研究成果を広めるための授業研究会や研究発表会の実施</p>
----------------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

<p>(1) 少人数指導について</p> <p>ア 少人数の学習集団を編成したことにより、一人一人の児童に目が行き届き、学習状況に合った支援が行いやすい。また、習熟度別指導における個に応じた指導を展開するよう努めたところ、児童の学習意欲を高めることができた。</p> <p>イ 学力向上についての保護者への説明会や習熟度別指導の文書の配布などに</p>
--

より、学級の枠をはずして行う少人数指導や習熟度別指導の実施について、保護者や地域の人々の理解を得ることができた。

ウ 指導を担当する教師が学年全体の児童と関わることで、学習指導面だけでなく、生徒指導や児童理解の面においても良い効果がみられた。また、教師同士がお互いに情報交換や教材研究に取り組む中で、指導力を高め合ったり、協力体制が強化されたりするなどの効果もあった。

(2) 教科担任制について

ア 学級の枠を超え、学年全体を見渡した指導が行えるとともに、教師の専門性や得意な面を生かして、教材研究を深めることができ、児童にとって魅力ある授業を行うことができた。

イ 児童にとっては、より質の高い授業を受けられることや複数の教員とふれあえることなどにより、良い印象を持っているようである。また、保護者からは中学校への橋渡しの意味合いに好感を持っているようである。

(3) 『算数花小力だめしテスト』の正答率(%) (平成14年度末実施)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
考 え 方	79.4	78.0	81.5	70.5	85.6	58.6
表現・処理	95.8	90.5	90.0	73.1	91.5	80.2
知識・理解	90.7	87.1	84.9	76.4	88.7	94.2
全 体	88.6	85.2	85.5	73.3	88.6	77.7

2. 今後の課題

- (1) 算数科での少人数指導については、学年の発達段階や単元の特徴などについて研究を深め、より効果的な少人数指導が行えるように改善を図ることが大切である。また、補充的・発展的な教材の開発に努め、個に応じた指導の一層の充実を図っていく必要がある。
- (2) 児童が自らの学びを振り返り、めあてを持って意欲的に学習を進められるように、自分の学習する力を的確に捉えることができる自己評価能力の育成を図る必要がある。
- (3) 確かな学力をはぐくむためには、基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、それを生かしてより良く問題を解決する力を育てる必要がある。その学習の主な場となる、総合的な学習の時間の指導を充実させたり、家庭との連携を図ったりすることが大切である。

学力等把握のための学校としての取組

- (1) 自作の学力調査の実施(学年末)
 - ・ 算数(全学年)
 - ・ 社会(3年～6年)
 - ・ 理科(5年・6年)
- (2) 各学期末の漢字・計算50問テストの実施

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- (1) 第1回秩父地区学力向上研究協議会での授業公開及び研究発表
 - ・ 期 日 平成15年11月25日
 - ・ 場 所 秩父市立花の木小学校
 - ・ 授業公開 第5学年算数科(習熟度別指導～4コース)
 - ・ 参加者数 80名
- (2) フロンティアティーチャーとしての取組
 - ・ 期 日 平成16年1月22日
 - ・ 場 所 大滝村立大滝小学校
 - ・ 内 容 フロンティアスクールとしての取組の研修会
 - ・ 参加者数 10名

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無